

氏名	滝澤宏和	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	リハビリテーション学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2009年新潟医療福祉大学保健医療技術学部作業療法学科、14年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科修士課程、20年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科後期博士課程				
経歴	2009年戸田中央医科グループ入職、15年同グループ副主任、20年同グループ主任、22年同グループ係長				
所属学会（役職）	日本作業療法士協会、埼玉県作業療法士協会、日本行動医学会、日本作業療法研究学会、日本不安症学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	行動医学研究において用いられる解析手法：国際行動医学雑誌(International Journal of Behavioral Medicine)を対象とした系統的レビュー	共著	あり		行動医学研究; 29(1); 22-55	渡辺和広、落合由子、浅岡紘希、川人潤子、島田恭子、滝澤宏和、土井理美	2024.8
2	COVID-19流行中におけるリハビリテーション専門職の抑うつと睡眠およびストレス発散に費やす時間との関係	共著	あり		行動医学研究; 29(2); 77-85	滝澤宏和、田山淳、中谷直樹、濱口豊太	2025.1
3	Effectiveness of Attentional Bias Modification Combined With Cognitive Behavioral Therapy in Reducing Relapse Risk and Cravings in Male Patients With Alcohol Use Disorder: A Quasi-Randomized Controlled Trial	共著	あり	○	Neuropsychopharmacol Rep; 45(1)	Yoshifumi Amano, Kohei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Shota Tasaka, Toyohiro Hamaguchi.	2025.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	痙縮を伴う重度上肢運動麻痺を呈した症例に対する多角的な介入経過	共同	第34回東北作業療法学会、秋田		○根本直宗、滝澤宏和	2024.7	
2	Characteristics of Orientation and Engagement in Attention Bias— An Observational Study of Stroke Patients	共同	第8回アジア太平洋作業療法学会、北海道		○Hirokazu Takizawa, Jun Tayama, Toyohiro Hamaguchi	2024.11	
3	自主練習指導とCOPMを用いた作業療法により日常的な麻痺側上肢使用頻度が促進された外来脳卒中患者の一例	共同	第58回日本作業療法学会、北海道		○藤島貴幸、ミュア朋枝、滝澤宏和	2024.11	
4	リハビリテーション・モチベーションスケール短縮版の検討～予備的研究～	共同	第58回日本作業療法学会、北海道		○宮川英乃、渡邊菜、滝澤宏和	2024.11	
5	病棟リハ室における自主練習としての経皮的電気刺激療法の効果検証～脳卒中患者の痙縮抑制に介入した一例～	共同	第58回日本作業療法学会、北海道		○菊地大介、山本禎、滝澤宏和	2024.11	
6	脳卒中患者の運動麻痺の有無はドライビングシミュレータの反応時間に影響しない	共同	第58回日本作業療法学会、北海道		○清水康智、山本禎、滝澤宏和	2024.11	

7	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の睡眠時間と身体活動量の関係	共同	第58回日本作業療法学会、北海道	○渡邊栞、宮川英乃、滝澤宏和	2024.11
8	装具カンファレンスを受けた脳卒中片麻痺患者の歩行能力向上は年齢と認知機能に影響される	共同	第58回日本作業療法学会、北海道	○山本禎、滝澤宏和、濱口豊太	2024.11
9	回復期脳卒中患者の入院初期データから任意日数後のFIM得点とプラトー時期の予測モデル作成	共同	回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会、北海道	○山本禎、滝澤宏和、濱口豊太	2025.2
10	装具カンファレンスを実施した脳卒中片麻痺患者の身体機能と歩行自立度における経時的変化についての調査	共同	回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会、北海道	○吉田寛也、山本禎、滝澤宏和	2025.2
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会下顎研究費補助金（若手研究）		脳卒中患者における注意バイアス修正プログラムの開発	研究代表者	2022.4～2025.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生活環境技術学	○	8	個々の障がい者の残存機能・能力に合わせた生活支援を行うために必要な福祉用具や住宅改修の知識・技術を学ばせた	
2	高次脳機能作業療法学		1	高次脳機能障害の基本情報と実際に臨床場面で認められる症状を合わせつつ紹介した	
3	高次脳機能作業療法評価学		1	高次脳機能障害の基本情報と実際に臨床場面で認められる症状に対する具体的な評価手順について紹介した	
4	高次脳機能作業療法学特講		1	臨床場面での症例を紹介しながら、離床場面における作業療法の進め方を紹介した	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生活環境技術学演習	○	8	障がい者の支援に役立てるための福祉用具・自助具を実際に見学、利用することで具体的な支援方法について学ばせた	
2	高次脳機能作業療法学演習		1	高次脳機能障害の基本情報と実際に臨床場面で認められる症状に対する具体的な介入方法について紹介した	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	身体機能作業療法評価学実習		1	3週間の長期実習に向かう直前の講義のため、今までの評価学に関する講義のまとめと共に実際の臨床現場、実習場面で求められる対応なども含め実践的な講義を実施した。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2024.6～2025.11	主指導 4名	副指導 名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	全国リハビリテーション学校協会	研修委員	2024.6～現在
2	全国リハビリテーション学校協会	共用試験検討部会委員	2024.6～現在
3	日本行動医学会	将来構想委員	2023.7～現在
4	日本行動医学会	研究推進委員	2023.7～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	広報こしがや	健康情報コラム「こころの健康は運動と睡眠から」	2025.1
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	該当なし		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		